

和光市自治会連合会

平成24年10月1日

第11号

自治連わこう



さつきちゃん

わこうち



諏訪神社大祭



本町まつり（七区）

“祭りだワッショイ”



協和会まつり（下新倉氷川神社）



北原小まつり（越戸・北口）

越後山まつり
でも大活躍

2012年夏祭りも昨年は東日本大震災で取止めたところもありましたが、記録的な暑さの続く中、7月から9月にかけて市内各所の自治会で盛大に執り行われ、それぞれの自治会が地域の特色を生かした催し物を企画し、多くの会員と市民がその日1日の楽しい思い出を作るため奮闘しておりました。

これがきっかけとなって、和光市民全員が楽しめる、笑顔あふれる、触れ合える、街として発展していきたいものです。

各自治会のお祭りの様子は、和光市自治会連合会HPでもご覧になれます。

<https://opencity.jp/wako/peges/gp/jichiren/>

24年度 自治会連台会定期総会

和光市自治会連台会の定期総会が、平成24年5月26日(土)に、松本市長、菅原市議会議長他11名の来賓を迎え、94自治会(内委任状34自治会)の出席のもと、白子コミュニティセンターにおいて開催され、会長あいさつの後、来賓各位からご祝辞をいただき、議長選出後、直ちに議案の審議に入りました。

議案は、平成23年度事業報告、決算報告、規約の一部改正、平成24年度事業目標、事業計画(案)予算(案)が提案され、原案通り承認されたところであります。続いて永年(10年)功績のありました自治会長に感謝状の贈呈を行われ、全ての予定が終了致しました。



・感謝状贈呈者
 加山茂夫(白一東)
 飯田久夫(浅久保上町会)
 佐藤栄志(桜)

平成24年度事業計画(案)

- 4月22日 防犯パトロール
- 5月9日 第1回理事会
- 26日 定期総会
(会場 白子コミュニティセンター)
- 6月17日 クリーン・オブ和光、第2回理事会
- 7月1日 防災訓練、地区懇談会(5地区)
- 8月 第3回理事会

24年度 自治会連台会役員



顧問	富本	澤橋	實喬		
顧問	大津	長	山		
会長	浪間	貞	向	山	
副会長	木本	亮	七	区	
副会長	山多	好太郎	泉	台	
副会長	川田	智好	協	和	
副会長	勝村	治夫	大	和	
会計	中清	幸	越	後	
理事	水野	邦	新	鈴	
理事	大野	良	南	上	
理事	本萩	尚	和	光	
理事			西	大	
			和	光	
			八	和	
			団	地	

- 10月 市民体育祭参加、視察研修会
第4回理事会
- 11月 市民まつり、ゆめあいまつり
- 12月 クリーン・オブ和光
防犯パトロール
- 2月 新年顔合わせ会、第5回理事会
地区懇談会(5地区)

平成24年度 予算 (24. 4. 1~25. 3. 31)

収入の部		(単位円)	
項	目	予算額	前年度決算額
会	費	900,000	891,900
市	補助金	2,590,300	2,140,300
社	協協力金	100,000	100,000
雑	収入	50,000	53,000
利	息	500	207
委	託事業収入	200,000	199,720
繰	越金	673,604	687,167
合	計	4,514,404	4,072,294

支出の部			
会	議費		
会	議費	530,000	486,386
事	務費	280,000	201,987
交	際費	170,000	82,000
事	業費	3,240,300	2,628,317
予	備費	294,104	0
合	計	4,514,404	3,398,690

敬称略

理事	清	水	梅	雄	北	口
理事	横	路	秀	雄	漆	台
理事	柴		吉	紘	越	戸
理事	福	西	真	司	和	光
理事	山	崎	真	岩	男	一
理事	内	山	昌	明	吹	上
理事	伊	藤	芳	夫	浅	久
理事	飯	田	久	夫	浅	久
理事	加	山	秀	夫	白	三
理事	原	中	田	政	雄	白
理事	手	吉	田	繁	夫	隆
理事	吉	榎	本	下	岩	雄
理事	宮	尾	和	山	浩	白
理事	加	柴	崎	茂	夫	明
監事						

北口 漆台向坂
 越戸 和光会
 一新会 吹上睦会
 浅久保町会 浅久保上町会
 白三泉 白三西牛房
 越後山 二軒新田
 DIKマンション和光
 四晴会 藤の木
 白子水門会 白一東会
 諏訪会 (木田副会長 事務局長兼任)

広報紙発行編集委員

委員長	中	村	幸	夫	越
委員	本	橋	良	吾	後
委員	大	野	忠	司	山
委員	福	西	真		八
					和
					光
					会

地区懇談会での意見・要望内容

(平成23年度後期地区懇談会)

◆市民生活について

平成22年度自治連後期地区懇談会後に要望しました、広域路線バス運行の件について、現在市の対応はどうか教えて下さい。

西武バス関係者の話では、地域型運行は可能という話です。運行に向けて話を進めていただきたく要望します。

【回答】道路安全課

平成23年5月に東武バスウエスト株、西武バス株、国際興業株の3社へ市長が赴き、「和光市駅より光が丘駅及び西高島平駅に通じるバスの運行に関する要望書」を提出し、前向きに検討していただくよう要望をしましたが、光が丘駅及び西高島平駅のバス停の確保、駅周辺の交通渋滞状況、運行における採算性等の問題で各社から改善策がない限り進展は難しいとの説明を受けました。将来的に和光市駅北口広場の整備が完成すれば、運行条件が変わるものと思われまますので、引き続き要望してまいります。

なお、平成25年4月1日の市内循環バスのダイヤ改正では、南、北2コースから南、北、中央の3コースに運行経路を変更し、中央コースでは、東武バス路線の「白子3丁目東」バス停に市内循環バスのバス停を増設して西高島平駅へのアクセスの向上を図る予定ですので、ご理解をお願いします。

◆防災行政について

防災無線について

①白子南越之上自治会には高いマンションがあり、防災無線が聞きづらいです。実際に聞いて調査して下さい。

②和光第八自治会では防災無線が聞こえません。地下鉄操車場の電柱に聞こえるように設置して欲しいと話していますがどうなっていますか。

【回答】くらし安全課

①②和光市では、平成18年度に防災行政無線音達調査を行っており、その後も職員による現地調査を行っております。ご意見の趣旨は把握しておりますが、限られた予算の中では、付近に全く放送設備のない地域を優先して新設を行っております。

申し訳ございませんが新設での対応は難しいためスピーカーの向き変更及びスピーカーの出力調整や、拡散型のスピーカーから直線型のスピーカーに変更するなどの対応を検討してまいります。

防災無線をデジタル化する予定はありますか。また、ラジオ局を作るなどの構想はありますか。防災無線が聞こえない地域の解消を考えていただけるよう要望します。

【回答】くらし安全課

和光市では平成21年度よりデジタル波での運用を行っておりますが、予算の関係上平成21年度時点での全放送施設に対し、一斉にアナログ波からデジタル波への切替が難しかったことから、年間数基ずつ切替の改修を行っており、現状ではアナログ波とデジタル波の併用で運用を行っております。また、和光市単独でのラジオ局の運営は現状では考えておりません。

和光市としてはコミュニティFMである「すまいるエフエム(76.7MHz)」と災害時における緊急放送に関する協定を締結しており、災害発生時には放送を依頼して情報の伝達を図ります。また、防災行政無線が聞こえない地域の解消は順次進めておりますが、補完するものとしてホームページや和光市防災・防犯情報メールを活用してまいります。

◆ごみ問題について

平成23年度よりごみゼロ運動は3月の活動がなくなり、平成22年度迄の年3回から年2回に回数が減りましたが、自治会連合会には回数減決定後に話がきました。ごみゼロ運動



は参加する自治会も多く、決定前に話し合う機会がなかった事は残念です。ごみゼロ運動が3回から2回に減った経緯を教えてください。

市と自治会連合会は協働関係と認識しています。ごみゼロ運動だけでなく自治会と関わる事業について、計画・決定・変更等ある場合は、事前に話をさせていただけるよう要望します。

【回答】資源リサイクル課・市民活動推進課

ごみゼロ運動が年3回から2回になった理由をお答えします。

ごみゼロ運動は本来、自治会をはじめとする地域の方々のボランティア活動により市内に放置されている不法投棄物の排除、街中清掃を目的として行っておりました。しかし、市からの「ごみゼロ開催通知文書」のなかでも再三に亘りお願いをしているにもかかわらず、ご家庭から持ち込まれたごみが多く含まれているのが現状です。市としても厳しい財政状況の中、全庁的な補助・扶助事業の見直しを行い、「本来の主旨からずれてしまった事業のために1回の収集業務委託料220,000円をかけて行うのはどうなのか。」ということから回数の削減に至ったものです。なお、今後につきましては、ごみゼロ等の自治会が多数関わる事業についての計画・決定・変更等がある場合には、事前に相談いたします。

◆道路行政について

道路について

市道1号線のガードレールは何百メートルも古いままになっています。(リーベルハイ마트前から新倉水川八幡神社まで歩くのに立ち止まらないといけない所もあります。県道88号線からリーベルハイ마트までと同タイプ(柱とガードが一体となっているタイプ)のガードレールを設置していただくよう要望します。

【回答】道路安全課

ご要望の箇所には延長約600mの区間に、古いタイプのガードレールが設置されていますが、現在の市財政状況では全てを交換することは難しいため、老朽化等を調査し、ガードレールを交換する必要がある場合には、ご要望にある柱の中心部にレールを設置するタイプに変更してまいります。

◆その他

和光市内自治会の組織率を高め、活動を活性化し、自治会の加入率を上げていくために、行政と自治会是一体となりパイプを太くしていく必要があります。以下3点を要望します。

①市ホームページで自治連年間行事や内容をとりあげて下さい。市民向け、自治会加入の意味まで踏み込んで記載をお願いします。

②現在市の広報に自治会関係の記事が少ないので、積極的な掲載をお願いします。

【回答】市政情報課

所管課の市民活動推進課と連携を図りながら、市ホームページの「自治会」のページの内容を更に充実させるとともに、市広報紙に自治会加入促進等の記事を定期的に掲載するよう努めます。

③役所内に自治会専用窓口の設置を要望します。

【回答】市民活動推進課

市民活動推進課が自治会専用の窓口となっておりますが、転入者への自治会案内や広報等でより周知を図ってまいります。

平成24年度 地域防災訓練

平成24年7月1日(日)実施
参加自治会 23自治会

自治会参加者	827人
自治会連合会関係者	17人
市職員	35人
一般参加者	239人
関係機関等	159人
合計	1,277人



※自治会参加者は、第五小学校への避難訓練等には参加せず、地域での一時避難訓練のみ参加した方も含む
 ※また、一時避難訓練では、要援護者の安否確認、負傷者の状況確認、住居や道路、がけ崩れ、火災などの被害確認、電気・ガス・水道・電話などのライフラインの被害確認が行われた。

自治会新規加入団体

一 竜 会

名門復活!!

私たちが住んでいる一竜会自治会は、古くは川越街道の白子宿場町として栄えたところで和光市の文化偉人として有名な清水かつら、大石真先生が住んでいたゆかりの地としても知られております。

当自治会は、戦後間もなくできた自治会で隣近所との絆も強く、毎年お祭りや、盆踊り大会、納涼大会、餅つき大会等のレクリエーション活動も活発に行われる等、和光市でも古い歴史と伝統をもつ自治会でした。

平成17年頃解散し、しばらく休眠状態がつかまりましたが、東日本大震災を契機に再び自治会を発足する機運が高まり平成24年5月27日に設立総会を開催し新たに和光市の102番目の自治会として復活しました。

自治会活動には防災、防犯(交通安全)、地域福祉、環境保全等様々な問題が潜在しており地域の住民自治の役割は益々重要になってきています。私たち自治会は、5月に発足したばかりですが、6月に会員みなさんと初めての共同作業「クリーン・オブ・和光(ごみゼロ運動)」を実施し、地域清掃作業をしながらお互いのコミュニケーションが図れる良い機会となりました。



また、当自治会では、地域のきずなを深めるための施策として様々な情報を会員の皆様に提供するための一竜会新聞「白子宿だより」を毎月発行しています。自治会内の身近な出来事から地域や生活に向けた役立つ情報を掲載しながら一人でも多くの方が読んでいただけるように創意工夫をしています。

私たち自治会は発足したばかりですが、今後とも会員一同お互い助け合い協力し合いながら安全・安心な住みよいまちづくりを目指してまいりたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。

レリア和光会

はじめまして、今年の7月 和光市自治会連合会のお仲間に入れさせて頂きました。「レリア和光会」です。平成22年4月に竣工しました、マンションです。新倉ふるさと民家園(旧富岡家住宅)の南に位置し、和光市駅北口から、徒歩7分程の所にございます。

レリア和光会は57世帯(戸)の小さな規模で、20代から30代の若い世帯が多く生活しています。毎朝、小学校の登校班からスタートし、色とりどりのカラフルな幼稚園バスが、出迎えに来ては、元気良く子供たちの挨拶の聞こえてきます。入居時から2年半ほど過ぎますが、約20人の赤ちゃんが誕生しました。まだまだこの勢いは続き、益々にぎやかになりそうです。

和光市の広報などで拝見するような大きなイベントが、出来るようになるまでには、時間がかかると思いますが、まずは、挨拶など出来る事を継続し、防災訓練などを中心に、会員全体が集う会を重ねる毎に、相互の親睦を深めていければと思います。

レリア和光会は、より住み良い環境作りを目的に発足しました。いざという時にみんなが、協力し助け合う。そして「お互い様」の気持ちを共有して、近隣自治会の皆さんと共に盛り上げていきたいと思っています。

設立準備中の自治会

西漆台自治会…10月末頃に設立総会を開催できるよう、設立準備委員会の皆さんでがんばっています。
 半三池自治会(仮称)…自治会設立にむけてこれから本格的に活動していきます。



編集後記

この度、初めて「自治連わこう」の編集に携わらせていただきました。

自治会の会長の任をいただいて7年。一昨年秋よりは連合会の理事の任もいただきました。私は現役の会社員ですが、勤務地が近いので何とか夕方の会議等にも参加できます。

常々、少しでも地域の皆様のお役に立てればと、出来ることは何でもやらせていただく気持ちです。というのも、16年前に縁あって和光市に住むようになり、気に入って終の棲家とマンションを購入した地域であるからです。自然が残っているのに都心に近く交通の便も良い和光市が好きだからです。

だからこそ、和光市にも特別なお祭りイベントがあったらいいなと考えていました。すると、自治連の事務局で考えていた1面の企画がお祭りでした。わが意を得たりと思いました。少しでも皆様に自治会活動に興味を持っていただける紙面をと事務局、編集委員と頭をひねりました。自治会は人と人を繋ぐ役割を持っていると私は考えます。少しでも、それが皆様に伝わることを祈ります。編集という貴重な体験をさせていただき有難うございました。

編集委員 福西真司(和光会自治会)